

特集

「文京区事業」

# 信愛之友

社会福祉法人 信愛報恩会 2017年 冬号 WINTER No.636

## 文京区での介護事業を振り返って

信愛報恩会 理事長 桑名 斉



今から五十年以上前に、信愛病院では「寝たきり老人をつくらない」をスローガンに、結核医療から生活習慣病（成人病）医療への転換を図りました。しかし、なかには努力したにもかかわらず生活の自立ができず、家に帰ることがかなわない人たちのためにつくられたのが特別養護老人ホーム「信愛の園」でありました。

さて、文京区には大病院や都立病院など、急性期医療を提供する医療機関が数多くありますが、退院したあとのケアができないために家へ帰れない区民は多摩地域の特別養護老人ホームなどへ入所せざるをえませんでした。そこで、文京区は「文京区に特養を」を合言葉に土地と建物を準備して、私たち信愛報恩会が運営をするという、いわゆる公設民営型の特養をつくりました。同時に、デイサービスを提供する高齢者在宅サービスセンターを併設しました。

その二年後、わが国でも珍しい小学校併設の湯島高齢者在宅サービスセンター、同じく小学校併設の昭和高齢者在宅サービスセンターが開設されましたが、最近話題になっている地域包括ケアモデルの芽であったといえるかもしれません。

続いてホームヘルプステーション、介護保険法施行後には介護保険サービスセンターなど立て続けに開設しましたから、歴代の施設長や

職員の皆さんは苦勞の連続であったと思います。それ以上に、従来の措置制度から介護保険制度への移行にもなつて、サービス提供の仕組みが変わつたこと、すべてのサービスが説明と契約にもとづいて提供されるようになったことなどは、利用者のみなさんの日課や職員の勤務時間、内容も変えざるをえなかったために、それまでのサービスの質をいかに担保して、しかも健全経営をしなければならぬことが大きな課題でした。平成十八年には区からの委託方式から指定管理者制度へ移行しました。また、介護保険制度の改正で新たな予防給付が導入され、地域包括支援センターが誕生しました。

開設二十年目を迎えた平成二十年度をもって大塚みどりの郷は公設民営から民設民営へ衣替えをしましたが、経営面では年々厳しい状況が続いたこともあつて、新年度から文京大塚は社会福祉法人洛和福祉会へ文京湯島と文京昭和も社会福祉法人芙蓉会へ事業を委譲することになりました。

長年にわたるご支援に深謝するとともに、これからも豊かな地域生活が営めますよう心からお祈り申し上げます。ありがとうございました。



# 特集



## 文京区事業

### 文京区事業について

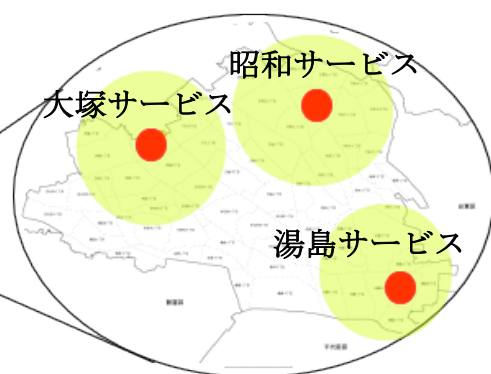
昭和六十三年より、文京区の地域福祉の向上のために邁進してまいりましたが、平成二十九年三月三十一日をもって、文京区の事業は後継法人へ事業委譲となりました。

長年ご利用いただいたご利用者やご家族の皆様、目の前にいるご利用者のために真摯なケアを提供してきたスタッフ、文京大塚、文京湯島、文京昭和の地で温かく見守ってくださった地域の皆様に感謝をこめて、特集を組みました。皆様の思い出の片隅に、信愛で過ごしたひと時がいつまでも残ることを願ってやみません。

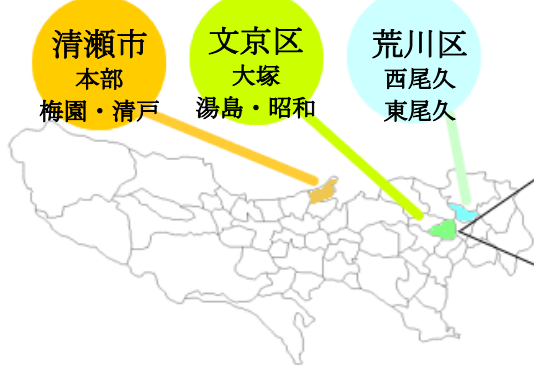
### 地図で見る文京区

文京区には、大塚、湯島、昭和と三つの拠点があり、多くの高齢者の方にご利用いただきました。

文京区内におけるサービスエリア



都内における信愛報恩会のサービスエリア



### 文京区事業の年表

昭和六十三年	文京大塚みどりの郷（特別養護老人ホーム）受託 定員60名、シヨートステイ4名 *この頃は、文京区の高齢者は、多摩地域の特養に入所せざるを得なかったため、「文京区に特養を」を合言葉に公設民営型施設として誕生
同年	大塚高齢者在宅サービスセンター事業受託 *会食サービスもスタート
平成元年	認知症デイサービス、宅配給食サービス開始
平成二年	湯島高齢者在宅サービスセンター事業受託 *小学校併設型で一躍注目を浴びた
平成四年	在宅介護支援センター受託 *文京区初
平成八年	24時間巡回型ホームヘルプ事業受託 *国のモデル事業
平成九年	昭和高齢者在宅サービスセンター事業受託
平成十二年	介護保険制度スタート（指定介護保険事業へ） *職員配置、サービス提供、契約の取り交わしなど 急激な環境変化があった。
平成十五年	大塚、湯島、昭和に介護保険サービスセンター開設
平成十七年	大塚ホームヘルプサービス開始
平成十八年	文京区受託事業から指定管理者制度へと移行 大塚地域包括ケア支援センター誕生 *介護予防事業開始
平成二十年	公設型施設から民設型施設へ転換
平成二十九年	後継法人へ事業譲渡



屋上で行う納涼会は大好評でした



高齢者在宅サービスセンター



大塚みどりの郷（5階建）



↑文京大塚（大塚みどりの郷、高齢者在宅サービスセンター、介護保険センター、大塚地域包括支援センター）

# PHOTO MEMORIES

↓湯島・昭和（高齢者在宅サービスセンター、介護保険センター）



やすらぎと活気にあふれ  
気軽に立ち寄れるがモットー



湯島高齢者在宅サービスセンターは、旅館のようなたたずまい



## ～ 共に歩む～

このページでは、信愛報恩会のスタッフやボランティアさんをご紹介していきたいと思っています。今回は、信愛病院もの忘れ外来の医師であり、認知症専門医である青柳先生をご紹介します。

**もの忘れ外来 毎週水曜日 午前 9:00～12:00 予約制 電話番号 042-491-3211**



信愛病院

もの忘れ外来

認知症専門医

あおやぎ うい  
**青柳 宇以**

**名前の由来:** 私の故郷である愛知県の名物、「青柳ういろう」です。苗字が青柳なので「ういろう」にしようという祖父の一言から、女の子なので「うい」だけにしよう…と両親が決めました。

**趣味:** 絵や工作、裁縫、料理など、モノを作ることです。特に料理が好きで、ベーコンやからすみも自分で作ります。

**一認知症専門医として心掛けていることを教えてください。**

ご本人だけでなく、介護をする皆さんの不安や負担ができるだけ少なくなることを目標にしています。認知症になってしまったら終わりではなく、適切な治療と環境調整により、長くお元気でいられることも多いです。こういったことや、疾病について理解していただくため、できるだけわかりやすい説明を心がけ、受診の際の不安が和らぐよう、笑顔で診療に当たっています。

**一認知症専門医を目指そうと思ったきっかけを教えてください。**

小さいころから精神科医の祖父が近所のお年寄りを往診するのに付いて行ったり、患者さんのおばあさんの家を学校帰りに訪ねたりしていました。おじいちゃんっ子だったこともあり、同じ精神科医となり、お年寄りの助けになりたいと老年精神医学を専門分野に選びました。

### もの忘れ外来Q&A

#### Q.もの忘れ外来はどんな症状の時にかければいいのでしょうか？

A. もの忘れには年齢相応のいわゆる『ど忘れ』（例えば、約束の時間や場所を忘れるがヒントで思い出すなど）と『認知症が疑われるもの忘れ』（約束したこと自体を忘れてしまうなど）があります。

具体的には①何度も同じことを言う、新しいことが覚えられない、②慣れた場所で迷子になる、③電化製品の使い方がわからなくなった、④身だしなみに気を遣わなくなった、季節や場にそぐわない服装をする⑤仕事や趣味に興味がなくなった、⑥突然怒り出したり、感情の起伏が激しくなった、⑦財布などを盗られたという妄想や幻覚がある、⑧夜眠れない、昼夜逆転しているなどの症状があります。

また気になることがあればお気軽にご相談ください。

#### Q.もの忘れ外来ではどんな検査や治療をしますか？

A. まずはご本人とお話して、問診や筆記でのもの忘れの検査をしたり、ご家族や施設の職員から、普段の様子などをお聞きします。

その後、必要に応じて血液検査や心電図などの身体検査、脳の画像検査（MRIや脳血流検査などが必要な場合は、連携している病院でご予約いただきます）を行います。これらの結果をもとに診断を行い、必要に応じてお薬を処方したり、現在生活の上で困っていることを改善するために環境調整を行っていきます。

#### Q.診察時間はどれくらいかかりますか？

A. 症状によりませんが、初診では約30分～1時間程度お時間をいただきます。

#### Q.最近、父の物忘れがひどくなっているため病院に連れて行きたいと思っています。しかし、「病院には行きたくない」と言って行こうとしてくれません。どうしたらよいのでしょうか？

A. 「認知症の検査をしよう」「もの忘れ外来に行こう」と説明すると拒否されてしまうときは、「健康診断に行こう」「体の調子を診てもらいましょう」とお誘いすると良いかもしれません。それでも難しそうなきや、どうしたら良いかわからないときは、まずご家族だけが受診していただいて相談することも可能です。

# しんあいアートフェスタ

## アートフェスタとは？

信愛報恩会では、バザーと同時に文化祭という形で、利用者の作品展示を行ってきましたが、3年前よりバザーとは別開催で、アートフェスタを開催しています。

アートには、「芸術」だけでなく、「技」という言葉の意味があります。信愛報恩会が行っている色々なプログラムを通して「アート」に触れ合う機会を企画しました。

今年度は、6日間の開催で、十月三十一日から十一月五日まで、6日間開催し、多くの方にご参加、ご来場いただきました。

## ご利用者の作品展示

信愛苑、信愛の園、信愛のデイケアセンター、清戸の里など、信愛のご利用者の皆様が目ごころ制作されている作品を展示させていただきました。絵画、書、花、細工など色々な作品があり、来場者の目を惹きつけてくださいました。ぜひ、一年かけて、来年もご協力をいただくことをお願いしたいと思います。少しでもですが、ここでご紹介します。



夕陽に燃ゆる法隆寺（信愛デイケア）



縁起熊手（複合型ケアほほえみ）



よろず健康教室



信愛の園（特別養護老人ホーム）の作品



信愛苑（特定有料老人ホーム）



信愛デイケアセンター



しんあい清戸の里

## アートフェスタプログラム

	午前	午後①	午後②
10/31(月)	音楽療法体験	絵手紙教室	リラクゼーション体験
11/1(火)	アロマスプレー作り	マカロンメモスタンド作り	脳トレ体験
11/2(水)	ラフターヨガ体験	クリスマス飾りづくり	終活セミナー： エンディングノートで思いを託す
11/3(木)	信愛報恩会 見学バスツアー		
11/4(金)	コンサート	ボイストレーニング	荒川ころばん体操
11/5(土)	子供対象：職業体験	子供対象：バルーンアート	講演会：認知症になったら？

### 体験プログラム

信愛報恩会で行っている様々なプログラムを体験していただきました。

信愛病院の音楽療法士による「音楽療法体験」、カウンセラーによる「リラクゼーション体験」、アロマセラピストによる「アロマスプレー作り」、清瀬市の介護予防事業である「脳トレ体験」、荒川区の介護予防事業である「荒川ころばん体操」、その他、今回特別に、信愛報恩会スタッフによる「ラフターヨガ体験」、外部講師による「ボイストレーニング」を行いました。  
一番の人気は「ボイストレーニング」で、一年に一度ではなく、定例化して欲しいと希望があるほどでした。



ボイストレーニング



音楽療法



荒川ころばん体操



リラックス体験



アロマスプレー作り



ラフターヨガ



脳トレ

## 教育体験プログラム

今回は、子供向けのプログラムも企画しました。看護師や介護士の仕事を体験する職業体験プログラムです。幼稚園や小学校の子供達が参加してくれました。「車椅子に乗ったのが楽しかった」「(高齢者体験をしてみて)お年寄りを大切にしたいと思った」といった感想をいただきました。この経験を将来に生かしてくれるとうれしいです。

## アートプログラム

アートに関しては、ボランティアアさんにご協力いただきました。室は清戸の里の講師であります吉本様。クリスマス飾りは、よる健康教室の芝山様。マカロンメモスタンドは、清瀬で活躍している清瀬リポンの会の徳永様、渡辺様。子供達が大好きなバルーンアートは、サトル様。秋のコンサートは干場様。この場をかりまして、お礼申し上げます。



絵手紙教室



バルーンアート



介護士体験



看護師体験



マカロンメモスタンド作り



秋の歌コンサート



クリスマス飾り作り



講師：青柳宇以先生

アートフェスタでは、記念講演も企画しました。信愛病院のもの忘れ外来を担当している青柳先生による「認知症になったらどうする？」です。認知症は誰もがなる可能性のある病気です。もし、自分自身や家族が認知症になった時に正しい知識と対処方法を知っておくことで、早期発見に繋がります。進行を遅らせることができます。「認知症」に関しては、わからないことで不安に思っている方も多く、たくさんの方が聞きに来られました。

## 講演プログラム



講師：高井豪先生

もう一つの講演は、終活カウンセラーである高井先生による終活セミナー「エンディングノートで思いを託す」です。終活とは「自分の終焉をしっかりと見定め、今をよりよく、自分らしく生きるための活動」です。実際にどのようなことをすれば良いか「マイノート(エンディングノート)」を使いながら、わかりやすく説明してくださいました。もしもの時に後悔をしないように、準備をすることは大切です。マイノートに記載をしながら、自分の過去や今を改めて見つめなおすことによって、これからの人生について考えてみるのも良い機会となりました。

## 相談プログラム

相談プログラムは、信愛報恩会のスタッフによる予約制の相談コーナーです。

地域包括支援センターによる「よろず相談」、緩和ケア認定看護師による「がん看護相談」、カウンセラーによる「グリーフ相談（遺族ケア）」、終活カウンセラーによる「終活相談」、サ高住スタッフによる「住まい相談」です。「よろず相談」は通常も行ってまいりますので、何かありましたら気軽ににご相談ください。

## 信愛報恩会見学ツアー

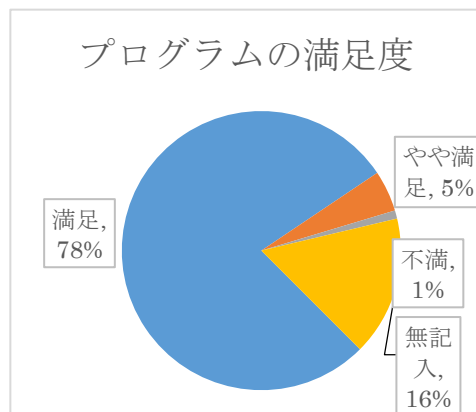
十五人限定のバスツアーを開催しました。清戸にある「しんあい清戸の里」、信愛病院、信愛苑、信愛の園（特養）、信愛デイケアセンターを見学し、その後、特養での食事を試食していただきました。



見学ツアー（試食付）

## アンケート結果より

アートフェスタに会場いただいた皆様へアンケートのご協力をいただきました。幼稚園生から九十代の方まで、多くの方にご来場いただきました。また、半数の方は信愛報恩会に始めてきたという方でした。プログラムに対しては、「満足」という声をたくさんいただきました。



皆様の声や要望を考慮しながら、また、来年度もアートフェスタを開催したいと思っております。信愛の夏の夏号で日程をお知らせする予定です。



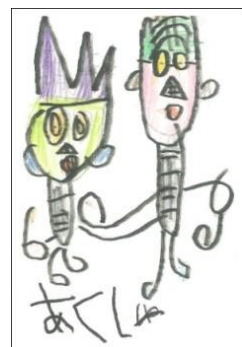
## 絵手紙コンテスト

第3回目は、応募総数は、2件でした。皆様のご協力ありがとうございました。

絵手紙は、手紙ですので、本来は優劣という評価は適切ではありません。そのため、コンテストでは、掲示されている中から、理事長、常務、病院管理者による「いいね！」賞を下記に発表したいと思えます。また応募していただいた絵手紙の一部は、患者さまやご利用者さまに寄贈されます。ぜひ、第4回目も沢山の応募をお待ちしております。

## 第3回絵手紙コンテスト 「いいね！賞」作品発表

●理事長賞…後藤様  
「あくしゅ」は、なかよし、平和の基本ですね。



●常務賞…新庄様  
「安心感」がネコの表情によく表われています。



●院長賞…大井様  
達磨さんの圧倒的な迫力。今にも葉書から出てきそうです。



●看護部長賞…吉成様  
皆が「ありがとう」の感謝の言葉と笑顔でいれば最高です。







# イベントレポート

## 信愛病院：難民申請外国人に無料健診実施（都内初）、年末のホームレス支援

信愛病院は、無料低額診療事業を積極的に行っており、その一貫として、外国人の難民申請者を含む外国人生活困窮者に対して、無料や低額での医療を提供しています。

2016年11月6日に、難民申請者を含む外国人生活困窮者を対象とした無料健康診断を都内の病院として始めて行いました。言葉や文化の問題で、通訳や多数のボランティアが必要なため、外来が休みの日曜日に実施しました。当日はアジア、アフリカなど15カ国の方々、約50名の方が健康診断を受けました。健康保険証を持ってない難民の方は、具合が悪くなって受診すると、既に症状が悪化している方が少なくありません。そのため、身体の異変に早く気づくよう予防の段階から関わるのが重要のため、今後も定期的実施していくつもりです。

また、当院が所属する東京都社会福祉協議会医療部会では、ホームレス支援として、年末の炊き出しを行っています。今年も、信愛病院のスタッフが参加しました。



↓年末の炊き出し風景



↑健康診断のミーティング風景



## 「インフルエンザの検査と治療について」

寒い冬が訪れました。そしてインフルエンザが流行する季節になりました。インフルエンザは冬になると皆さんのまわりに流行してしまう病気です。

### ◇近年、検査と治療方法は大きく変わった

今回は、インフルエンザの検査と治療についてお話しします。最近では鼻の奥に綿棒を入れて検査をして、すぐにインフルエンザになっているかどうか分かるようになりました。そしてインフルエンザに効く薬が出てきて広く使われるようになりました（右表）。



### ◇10000 人に 1 人が亡くなる病気

症状は急に高熱がでて、ふしぶしが痛くなり、だるくて動くことが億劫になり寝込んでしまいます。インフルエンザは数日間高熱が出て苦しい病気です。まれに肺炎になって入院したり、死亡する場合があります。どの程度の人が亡くなるかという、インフルエンザに感染した人の約 0.01%、10000 人に 1 人ぐらいが亡くなる病気です。しかし、普通は 2、3 日間熱がでて苦しくなりますが、その後は治ってしまいます。

### ◇陰性となった場合は要注意

冬に急に熱が出た場合インフルエンザの検査をすることがあります。その検査の結果でインフルエンザかどうか判断されます。インフルエンザの検査は「どの程度」正確にわかるのでしょうか。インフルエンザの検査が陽性と出た場合は、ほぼインフルエンザにかかっていると判断できます。

しかし、インフルエンザの検査が陰性となった時は注意が必要です。インフルエンザに感染していても 10 人のうち約 3 人は陰性になります。インフルエンザなのに、検査ではインフルエンザではないという結果になります。インフルエンザの検査が陰性であっても症状や診察した身体の様子から医師はインフルエンザと診断します。

### ◇「どの程度」効くかを考える

また、治療に使っているインフルエンザの薬は「どの程度」効果があるのでしょうか。インフルエンザの薬は、熱の期間が約半日短くなる効果は確認されています。しかし、肺

## インフルエンザの薬と効果

1. **オセルタミビルリン酸塩（タミフル）**  
→A 型・B 型両方のインフルエンザウイルスの増殖を防ぐ効果がある  

2. **ザミナビル水和物（リレンザ）**  
→吸入薬で A 型・B 型インフルエンザに効果がある
3. **ラニナミビルオクタン酸エステル水和物（イナビル）**  
→A 型・B 型インフルエンザの治療に効果があり、リレンザと同じ吸入薬である。
4. **ペラミビル（ラピアクタ）**  
→点滴注射薬である  

5. **アマンタジン塩酸塩（シンメトレル）**  
→粒子を構成できなくする働きをもっており、A 型インフルエンザに効果がある

炎を予防したり、死亡を予防するほどの効果がどの程度あるのか、まだはっきりわかりません。インフルエンザの薬の効果はその程度なので、体力のある大人はインフルエンザの薬を使わないという治療も可能です。インフルエンザの治療が必要なのは、体力のない高齢の方や肺や心臓の病気を持っている人です。

「効くのか、効かないのか」「わかるのか、わからないのか」と 2 つを比べてしまうと、勘違いしてしまうかもしれません。「どれくらい効くのか」「どの程度、検査でわかるのか」をちょっと立ち止まって考える必要があるのではないかと思います。

まとめです。インフルエンザ検査の陰性は要注意が必要です。また、元気な大人であれば、インフルエンザの薬は必要でない場合もあります。

そのことをふまえて検査や治療は、どれくらいメリットがあるのか、どの程度効くのか、その「程度」を考えましょう。

# ほっとスマイルケア



日々のケア場面で突き当たる「どうしたらいいの？」をほんの少し解消

スマイルケアは今号で終わりになります。  
2年間読んで頂きありがとうございました。

今回のテーマは、「常識・非常識」

「〇〇なんて非常識ね」と、いろいろ、もやもやしてしまうこと、皆さん経験あると思います。人は、自分にとって「あてはまらない」という時に、『非常識』と捉えるところがあります。

しかし、自分にとっての『常識・非常識』と、相手の『常識・非常識』は必ずしも同じではありません。ケアの現場では、ケア側の『常識・非常識』を相手に押し付けてしまうことは注意が必要です。相手がどのように暮らし、どのように考えているか耳を傾け、時に話し合ったり、なぜなのかきちんと説明することが大切です。

そうして相手の気持ちを考えることで不思議と心がすっきり軽くなります。

(人材開発室 藤井)

## 例：歯磨きは1日何回すべき？

歯磨きはずっと2回よ

歯磨きは1日に3回が常識！



皆さんはどのように考えますか？

- 1日2回は非常識？歯磨きは、回数の問題？
- 1日3回磨いても、ちゃんと磨けていなければ意味がないかもしれません。
- 口腔ケアは、誤嚥性肺炎の防止につながります。
- お口の中のトラブルはないでしょうか？



## いきいき生活 始めの一步

### 普段の生活に“有酸素運動”を取り入れよう

外に出るのが辛く感じる季節となってきました。そんな中、運動する時間が減ってくる方も多いのではないのでしょうか。加齢に伴って徐々に筋肉量は減少するといわれています。予防するためには、運動をして筋肉量や筋力を増やすこと、必要な栄養素をしっかりと摂る事が大切となります。

運動には、筋力トレーニングと全身を使った有酸素運動があります。はりきって運動をしなければ、と急いで無理をすると長続きしなかったり、身体に負担をかけてしまいます。では、どんな運動をしたらよいかご紹介いたします。無理なく楽しく続けられる運動を徐々に取り入れていきましょう。

(信愛病院 理学療法士 渡村)

#### 運動を長続きさせるポイント

- ① 身体に負担をかけすぎない
  - ② 普段の生活に有酸素運動を取り入れる
  - ③ 楽しく続けられる運動を行う
- 有酸素運動・・・全身を使った比較的軽い運動

いつもより…

少しだけ速く歩く

長めの道を歩く

今日はエレベーターではなく階段にしてみよう

NHKの「みんなの体操」を行う(毎日9時55分～放送中)

座っても行える



①散歩



②階段の上り下り



③ラジオ体操



牧師 竹前 治  
清瀬信愛教会

「信愛教会の特色」

「愛は忍耐強い。愛は情け深い。ねたまない。愛は自慢せず、高ぶらない。礼を失せず、自分の利益を求めず、いらだたず、恨みを抱かない。不義を喜ばず、真実を喜ぶ。すべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてに耐える。」

(コリントの信徒への手紙一 13:4-7)

信愛教会の特色が今回のテーマであります。まず教会とは何かですが、教会とは建物のことではなく、イエス様を信じる群れのことであり、ます。ですから教会の特色とい



集会のご案内

主日礼拝 日曜日  
○信愛病院内外来  
9:20~10:00  
○教会礼拝堂  
10:30~11:45

えば、それは救い主イエス様を信じる喜びであります。上記の聖書は信愛報恩会が大切にしている『信じること、愛すること』の原点があり、また教会の原点でもあります。  
愛と言うところに「主イエス」という言葉を入れ直すと、この言葉の意味がはつきりとしてきます。イエス様は忍耐強く、うらみ、ねたま、不義を喜ぶ方ではなく、むしろ人間の不誠実を常に耐えられ、十字架の死に至るまで耐え忍んでくださったほどに、人間を愛してくださいっているのです。  
その愛に感謝し、その愛に生きたいと願っているのが教会であります。ぜひ教会の門をたたいて、イエス様の愛に触れてみませんか。

チャプレンだより

「信愛病院緩和ケア病棟での働き」

日々の働きとしては、病棟の申し送りに参加し患者さんの状態を把握しています。また、看護師から、関わりが必要な患者さんの紹介がありますので、訪室してお話を伺います。毎月の働きとしては、病棟運営会議での報告、土曜コンサート後のティertimeでの語らい、傾聴ボランティアへのアドバイザー(助言者)、季節行事への参加などを行っています。患者さんとの関わりを大切にしています。患者さんは、キリスト教徒ではないことが多いのですが、顔見知りになるところから会話が始まり、関係性ができることによって、チャプレンとして苦痛の緩和を助けるお手伝いが可能になると思います。  
もう一つ重要な働きとして、亡くなった後のグリーフケア(悲哀のケア)です。デスカンファレンスといって、亡くなった患者さんのケース検討会、毎月行われる遺族に対する茶話会、一年に一度の遺族会を行っています。



チャプレン  
武井 アイ子

編集後記

信望愛

我々編集部の実働メンバーは女性を中心なのですが、彼女たちは実によく働きます。次々と仕事をこなします。そのエネルギーがどこから出てくるのかと不思議に思うくらい気持ちのよい働きぶりです。

編集とは、取材をして、良さや個性を見つけ、言葉を選び、読者に届ける作業です。彼女たちの言葉には「届ける」という力を強く感じます。そして、その思いがだんだんと誌面を飛び出してきました。それはイベント、企画、ウェブサイト構築という形で法人のさまざまな活動に「広報」という要素が拡がってきました。

この動きは世の中では、ブランドディングと呼ばれるものなのだろうと思います。これから「広報」を通して多くの方々に信愛報恩会を知ってもらえると思うとなんだかワクワクします。

溢れる思いを形に。自然な流れでいけるところまでいってみたくと思っています。(石尾)



〒204-0024

東京都清瀬市梅園 2-5-9

TEL 042-433-4300

FAX 042-433-4301

honbuad@shin-ai.or.jp

編集発行人：鏡 勉

信愛の友編集委員会

次号は、4月後半予定

特集「ボランティア」